

2009年(平成21年)5月11日(月曜日)

# 具体的検討へ2委員会

水の安全保障戦略機構

## 合同会議開き意見交換

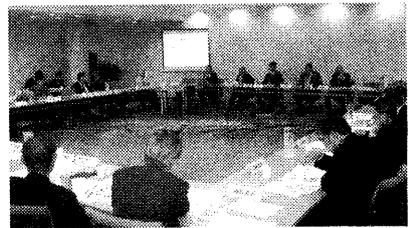
水の安全保障戦略機構は4月23日、第1回技術普及委員会と第1回分野



森元首相

連携委員会の合同会議を東京都文京区の中央大学で開き、意見を交換した。基本戦略委員会は大局的な視点から議論をするのに対し、2つの委員会は問題解決のための具体的検討を行う場となる。

出席した森喜朗元首相は「第5回世界水フォーラムには各国の首脳級が参加しており、水問題に対する意識が高まっていることが分かった。日本でも関係組織が協力していかなければならない」と訴えた。技術普及委員会の委員長には吉村和就・グローバルウォーター・ジャパン



課題を指摘した合同会議

代表、分野連携委員会で委員長に山田正・中央大教授が選出された。検討課題として、新技術が開発されても社会でなかなか使われないことや、優秀な技術システムが必ずしも国内外で普及しないこと、良好な水辺空間を造ろうとすると時間がかかることが挙げられ、現地の状況に対応した技術を持ち込む必要性や、河川管理が国・県・市に分かれていることが課題であることなどが指摘された。

また、新たに「アジア・パシフィック水道技術情報ステーション」(代表Ⅱ水道技術研究センター)と「災害時における中小規模「水」供給チーム」(代表Ⅱ日本原料)の2チームが「チーム水・日本」に登録したことが報告された。登録チーム数は23日時点で19となった。